

## 平成30年度研究推進計画

学 校 名 東広島市立三永小学校

学校長名 大垣 由紀子

### 1 研究主題、研究内容・方法等について

#### (1) 研究主題

楽しく論理的読解力が育つ国語科授業づくり  
～新学習指導要領を見通して～

#### (2) 主題設定の理由

変化の激しい未来社会に向けて、知識の習得だけではなく、実社会で活用できる汎用的能力が求められている。それは、国際的にも国内的にも同様であり、その能力育成のために、アメリカの「21世紀型スキル」、内閣府の「人間力」、経済産業省の「社会人基礎力」などが提言されている。広島県においても「広島版『学びの変革』アクション・プラン」として、「資質・能力（知識、スキル、意欲・態度、価値観・倫理観）の育成を目指した主体的な学び」を促す教育活動の積極的な推進を目指して、実践を積み重ねている。

本校では、昨年度「楽しく論理力が育つ国語科授業の在り方」を研究主題に設定し、論理的な文章である説明文教材の授業づくりについて研究を行った。自己評価活動を工夫することで、主体的な学び（楽しさ・積極性）の実現と学び続ける力（耐える力）の育成を図ることや、学びを深める対話活動を設定し、論理力（論理的読解力・論理的思考力・論理的表現力）を育成する授業の改善を図ることに取り組んできた。

日々の授業において、自己評価活動に継続的に取り組むことを通して、自分を振り返り、自信をつけた児童や意欲を高めた児童が増えたり、児童の発言においても論理力の高まりを感じたりすることができた。また、対話の手引きを作成して支援を行ったり、見本となるグループに再現させてモデルを示したりする中で、対話への意欲を高めたり、グループでの対話が活性化したりした。さらに、活発な意見交流が全体の場でも積極的にできる児童も見られるようになってきた。そして、これらの手立てを通してつけた力＝「論理力」についての成果は、説明文チャレンジテスト（教科書単元とは別の説明文教材によるテスト）の結果が目標値（低学年：平均90点以上、高学年：平均85点以上）がほぼ達成できたことである。しかし、次のような課題も残った。一つは、論理力＝論理的読解力＋論理的思考力＋論理的

表現力と考える研究を進める中で、その単元でつけた論理力の焦点があいまいになってしまったということである。もう一つは、評価をする際の基準があいまいで、その評価自体もあいまいになり、次の指導に生かせるものになっていなかったということである。

そこで、本年度は、昨年度の実践の成果と課題から、論理的読解力の育成に焦点を絞り、平成32年度より全面実施される新学習指導要領を拠り所にしなが、説明文教材のより深い教材研究の方法や児童が意欲的に学ぶ単元構成について研修を重ねる。さらに、評価の基準を明確にした評価テストの作成やその妥当性の検討などを通して、「楽しく論理的読解力が育つ国語科授業づくり」の研究に取り組んでいくこととした。

### (3) 研究仮説

新学習指導要領における「読むこと」の指導事項「ア構造と内容の把握」「ウ精査・解釈」及び〔知識及び技能〕の内容の「(2)情報の扱い方に関する事項」の両方の目標を達成するための授業づくりを目指して、次の3点に取り組むことにより、児童の論理的読解への意識を高めるとともに、児童の論理的読解力が育成されるであろう。

- ① 説明文教材のより深い教材研究
- ② 児童が意欲的に学ぶ単元構成
- ③ 評価の基準を明確にした評価テスト

### (4) 研究内容

- (ア) 児童に論理的読解力を育成するために、新学習指導要領における「読むこと」の指導事項「構造と内容の把握ア」「精査・解釈ウ」及び〔知識及び技能〕の内容の「(2)情報の扱い方に関する事項」の目標を理解し、単元構成に反映させる。
- (イ) 昨年度から取り組んでいる論理シートや単元構想図を継続して作成し改善していくことにより、より深い教材研究の方法を検討する。
- (ウ) 児童の論理的読解力を育成することができたかどうか評価するための評価テストを作成する。また、その評価テストの妥当性について検討する。

## 2 検証計画

### (1) 検証の方法

- (ア) 論理的読解力を見取るために作成した評価テストを説明文の単元の前後で実施し、正答率を比較する（作成した評価テストは年間を通して同じも

のを使用)。

(イ) 「論理的読解力」に関する児童アンケートを実施する。

(2) 検証の指標

(ア) 単元の前後で、平均正答率10ポイント以上の改善。

各学年の最終の評価テストでは、平均正答率80%以上。

(イ) 児童アンケートにおいて、肯定的評価が80%以上

3 校内研修計画

P D C A	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究組織決定</li> <li>校内研修年間計画作成</li> <li>理論研修 (論理的読解力を育成する国語科授業づくりについて)</li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理シート及び単元構想図の作成</li> <li>大学での研修(単元構造図の検討)</li> <li>評価テストの作成と実施</li> <li>研究部会(評価テストの結果分析と検討)</li> <li>研究部会(教材分析及び指導案検討)</li> </ul>
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業実践(高学年)(21日予定)</li> <li>授業実践(中学年)(28日予定)</li> </ul>
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業実践(低学年)(5日予定)</li> <li>研究部会(評価テストの分析及び成果と課題の検討)</li> <li>県大会の指導案作成・指導案検討</li> </ul>
P D C A	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学での研修(指導案検討)</li> <li>指導案の修正</li> <li>外国語活動について</li> </ul>
	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>県大会の準備</li> </ul>
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>県大会の準備</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第66回広島県国語教育研究大会(16日)</li> </ul>
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>県大会の振り返り</li> <li>評価テストの結果作成及び分析</li> <li>研究の成果と課題を集約</li> </ul>
	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究紀要の作成</li> </ul>
	2・3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体研修(研究の課題整理, 次年度の研究の方向性確認)</li> </ul>

4 研究公開の予定について

公開予定日	平成30年11月16日(木)
公開範囲	広島県
公開内容等	第66回 広島県国語教育研究大会